

【テーマ2】 地域と職域における健康づくりの展開による「健康寿命の延伸」

めざす方向

- 大阪府民の健康寿命は全国と比較して低迷（H25年：男性43位、女性47位）していることから、万博誘致も見据え、健康寿命延伸プロジェクトの取組み等により、全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざします。
- 高齢期に発症する生活習慣病予防のためには、働く世代へのアプローチが必要であることから、保険者、市町村、民間事業者、関係部局等と連携し、特定健診や医療費のデータ(*21、*22)分析をもとに大阪の健康課題を明らかにします。
- 地域（市町村）と職域（中小企業）において、健康的な生活習慣の実践、健（検）診の受診による疾病の予防、健康への関心と理解を向上させるなど、健康づくりの取組みを幅広く支援します。
- これまでの健康寿命延伸プロジェクトの取組み成果を踏まえ、より府民の健康づくりに資する効果的・効率的な施策展開を盛り込んだ健康づくり関連4計画（「第3次大阪府健康増進計画」「第3次大阪府食育推進計画」「第2次大阪府歯科口腔保健計画」「第3期大阪府がん対策推進計画」）を策定します。
（中長期の目標・指標）
・健康づくりに対する府民の意識向上と生活習慣病の早期発見・早期治療により健康寿命の延伸を図ります。

府域における健康課題の明確化と課題を踏まえた健康づくりの展開

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（3月末時点）>
<p>■大阪の健康課題の明確化・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険及び協会けんぽ等の保険者（府民の7割をカバー）と連携して、特定健診や医療費に関する大量のデータを収集・分析し、生活習慣病を中心に、大阪の健康課題を明確にする。 ・データの分析結果について、研修会等を通じて、保険者、市町村等へフィードバックするとともに、各種啓発資料を作成し、保険加入者や事業所等への普及啓発を行う。 ・保険者等と連携して、分析結果等を踏まえたセミナー等を開催するなど、保険者の健康課題を解決するための支援を行う。 <p>■健康課題を踏まえた健康づくり施策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の結果等については、健康づくり関連の各種計画の策定に反映させるとともに、保険者や市町村との連携を強化し、特定健診受診率の向上や生活習慣の改善など、大阪の健康課題を踏まえた施策を展開する。 	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険者から提供を受けた特定健診データや医療費データの収集：350万件（参考：H28実績348万件） ・データ分析の結果を踏まえた情報発信：府政だより（3月）等による啓発のほか、各種の啓発資料を作成し、保険者や市町村、民間企業等と連携して情報発信を行う ・市町村等を対象とした研修会の開催・分析結果のフィードバック：全市町村へのデータ分析結果の提供等 ・保険者等と連携した健康セミナーの開催：7回、1,400人 <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診や医療費に関するより多くのデータを収集・分析し、大阪の健康課題について継続的な把握を行う。 ・データ分析の結果等に基づく保険者や市町村等への支援等を通じて、府民の健康課題の解決を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○データ分析による健康課題の明確化と情報発信 ・保険者等と調整し、特定健診及び医療費に関するデータ（344万件）の分析を行い、肥満や糖尿病など健康課題の明確化に取り組んだ。今後、データ分析の結果をもとに、研修会等を活用し各保険者に対してフィードバックを行う。 ・市町村、保健所・保険者を対象とした研修会を実施し、H28年度分析データを提供（5月・9月）。 ・府政だより3月号に啓発記事を掲載（276万部）。 ・データ分析に基づき、啓発資料を作成。今後、府内全保健所（18）、保健センター、市町村等、関係機関へ配布し、情報発信を行う。 ○保険者等との連携による健康セミナーの開催等 ・損保ジャパン（7月）、協会けんぽ（9月、2月、3月）、大塚製薬（10月）、日本生命（2月）計8回、参加者1,483人

<p>(スケジュール)</p> <p>[データ関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ集計・分析：H29年4月～H30年3月 ・分析結果等報告：H30年3月 ・分析結果等フィードバック：H30年3月～ ・各種情報発信：随時 		
--	--	--

地域（市町村）における健康づくりの展開と府民への働きかけ

<p><今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）></p>	<p><何をどのような状態にするか（目標）></p>	<p><進捗状況（3月末時点）></p>
<p>■ 地域（市町村）における健康づくりの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域（市町村）における健康づくりを進めるため、参加者に対するインセンティブを活かした健康マイレージ事業（*23）に取り組む市町村に対して、府が立ち上げ支援を行い、地域住民の健康づくりの機運醸成を図る。 ・さらに、健康マイレージ事業に取り組む市町村の拡大に向けて働きかけを行う。 <p>■ 府民への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの府民が健康に関心を持ち、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、民間企業や保険者等との連携のもと、府民に対し効果的・効率的な情報発信を行う。 ・がん検診の普及啓発に加え、がん予防の普及啓発を図るため、医師・がん経験者によるセミナーや検診体験イベント等を開催するなど、キャンペーンを展開する。 <p>(スケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康マイレージ事業の市町村募集：H29年4月～6月頃 ・がん予防普及啓発に係るセミナー実施：H29年9月～H30年3月頃 ・各種情報発信：随時 	<p>◇ 活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府支援による健康マイレージ事業を実施する市町村数（H28実績のべ19市町）：のべ30市町村 ※補助対象市町村：39市町村（国補助金活用等による実施自治体を除く） ・健康づくりに関する情報発信：保険者や民間企業等と連携し、イベントの開催、啓発資料の作成・配布など、府民を対象に情報発信を行う ・がん予防普及啓発セミナーの開催：3回、900人 ・大学と連携したがん検診体験イベントを新たに開催 <p>◇ 成果指標（アウトカム）</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村への技術支援や府民への健康づくりに関する情報発信を通じて、生活習慣病予防など、府民の健康づくりへの関心を高めるとともに、地域（市町村）における、住民の主体的・継続的な健康づくりの取組みを促進する。 	<p>○ 地域（市町村）における健康づくりの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施市町村の拡大を図るため、様々な機会を通じて市町村や保健所等向けに事業参画の働きかけを実施（4～8月） ・健康マイレージ事業では、府内12市町に対して補助金交付決定。のべ21市町において実施（国補助金活用等による実施自治体を除く）。 <p>○ 府民への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等のノウハウを活用した効果的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・大塚製薬等と連携し、「毎日の食生活改善」キャンペーン等の実施（5月：ウエルシア薬局本町店） ・アフラックと連携し、「がんを知る展」を開催（6月：イオンモール鶴見緑地、来場者数2,888人） ・大阪いずみ市民生協、小林製薬等と連携し、子育て世代向け「口腔ケアセミナー」「相談会」等を実施（8月：堺市産業振興センター、来場者数3,750人、12月：浪切ホール、来場者数4,500人） ・大阪府食育推進ネットワーク会議等と連携し、おおさか食育フェスタを開催（8月） ・保健医療関係団体と連携し、がん予防キャンペーン大阪を開催（10月） ・ガンゼ等と連携し、乳がん検診促進キャンペーンを実施（10月：なんばウオーク） ・第一生命と連携し府民向けセミナー「がん・循環器病・長寿医療のこれから」を実施（12月：969人）

- ・がん検診の重要性を働きかけるため、検診受診を呼びかける標語を募集。応募 1,412 件の中から大賞等（3 件）を選定。
- ・医師・がん経験者によるがんセミナーを開催するとともに、標語の表彰式を実施（1 月、参加者 260 人）
- ・V.O.S メニュー（野菜たっぷり・適油・適塩メニュー）の提供拡大に向けて民間企業等と調整を実施（承認数 21 件）

○健康キャンパスづくりの取組み

- ・近畿大学と連携し、女子学生等を対象としたがん講座の開催（参加者 150 人）、検診車派遣による子宮頸がん検診受診・検診車見学会を実施（11 月）

職域における健康づくりの展開と企業への健康経営(*24)の働きかけ

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>

■ 職域における健康づくりの展開

- ・経営戦略の観点から従業員の健康づくりに取り組む事業所を増やすため、健康経営の必要性や職場での健康づくりの具体例等についてのセミナーを開催し、職域（中小企業）における健康づくりを促進する。
- ・従業員の健康づくりにつながる優れた取組みを掘り起こし、表彰・情報発信するため、「第 3 回大阪府健康づくりアワード」(*25)を開催する。
- ・業種や働き方によって異なる健康課題を解決するため、モデル職場を選定してサポートチーム（医師・歯科医師・保健師・栄養士等）を派遣し、取組みモデルを構築するとともに普及啓発を行う。

■ 国、保険者、民間企業等と連携した効果的・効率的な働きかけ

- ・経済産業省、協会けんぽ、民間企業等との連携により、セミナーやイベントの開催、健康経営の普及啓発を効果的に行うとともに、健康宣言企業認定制度など、それぞれの健康経営の支援施策を活用して、事業所に対する効果的な働きかけを行う。

<何をどのような状態にするか（目標）>

◇活動指標（アウトプット）

- ・保険者等と連携した健康セミナーの開催：7 回、1,400 人（再掲）
- ・健康づくりアワードの応募事業所数：24 事業所（参考：H28 実績 16 事業所）
- ・サポートチーム派遣に係るモデル構築数：5 事業所

- ・健康経営の働きかけ：保険者等と連携して健康経営の働きかけを進め、協会けんぽの「健康宣言」企業の認定の取組みを支援

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・「健康宣言する中小企業※」が拡大するなど、事業者における健康経営への関心度・理解度を高める。
- ※健康経営に関する必要な項目を実行する意思表明を行った企業（日本健康会議において 28 年度より

<進捗状況（3月末時点）>

○職域における健康づくりの展開（一部再掲）

- ・損保ジャパン（7 月）、協会けんぽ（9 月、2 月、3 月）、大塚製薬（10 月）、日本生命（2 月）計 8 回、参加者 1,483 人
- ・OSAKA しごとフィールドと連携し、企業向けセミナー「がん治療と就労」、「健康経営のススメ」を実施（6 月・10 月・3 月）
- ・NPO 法人キャンサーリボンズ等と連携し、がん治療と仕事の両立支援セミナーを開催（7 月）
- ・大阪国際がんセンター、ハローワーク、大阪産業保健総合支援センターと連携し、がん治療と仕事の両立支援セミナーを開催（2 月）
- ・東京海上グループとの連携による「改正がん対策基本法セミナー」を開催（2 月）
- ・第 3 回健康づくりアワードを実施し、従業員の健康づくりにつながる好事例を表彰・情報発信を実施。

- ・募集期間：9 月～11 月
- ・応募件数：職場部門 29 団体、地域部門 15 団体
- ・表彰式：2 月 21 日
- ・表彰件数：職場部門 10 団体、地域部門 6 団体

<p>(スケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康セミナー開催：H29年10月～H30年3月 ・健康づくりアワード参加者募集：H29年7月～10月 ・表彰団体決定・表彰式開催：H30年2月頃 ・サポートチーム派遣：H29年6月～11月頃 ・各種情報発信：随時 	<p>実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業における健康経営の働きかけを行うことで、職場を通じて働く世代の健康意識を向上させるとともに、職場における健康づくりの取組みを促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の健康づくりに係る機運醸成を図るため、協会けんぽ等との連携により、5業種（建設・運輸・製造・飲食サービス・情報通信）・5企業を選定し、サポートチーム（医師・歯科医師等）を派遣（計28回）。従業員向け健康セミナー（食事・歯と口等）やグループ面談等を通じて従業員の健康づくりを支援。構築した取組みモデルは事例集としてとりまとめ・普及啓発を実施。
---	---	---

大阪府の健康づくり関連 4 計画の策定

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（3月末時点）>
<p>■健康づくり関連 4 計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府民の健康寿命の延伸をめざし、がん・生活習慣病の予防・重症化予防等を推進するため、健康づくり関連 4 計画を策定する。 <p>【健康づくり関連 4 計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3次大阪府健康増進計画 第3次大阪府食育推進計画 第2次大阪府歯科口腔保健計画 第三期大阪府がん対策推進計画 <ul style="list-style-type: none"> ・平行して策定を進める他の関連計画と役割分担を行い、整合を図りながら一体的に策定する。 <p>(スケジュール)</p> <p>H29年7月頃：素案作成 H30年1月：案策定 H30年1月～2月：パブリックコメント実施 H30年3月：計画策定</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり関連 4 計画を一体的に策定し、さらに他の関連計画との整合を図ることで、健康への関心度やライフステージ（若い世代、働く世代、高齢者など）に応じた取組み、今後の健康づくり施策の方向性を示す。 ・計画の実現に向け、PDCA を適切に実施できるような確かな指標を設定。 ・計画の内容について広く周知するため、府民にわかりやすい表現とする。 ・策定期間：H30年3月 ・計画期間：H30年度からH35年度（6年） <p>※（参考）他の関連計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府保健医療計画 大阪府医療費適正化計画 大阪府高齢者計画 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各計画において、府民の健康づくりに向けた方向性や数値目標、その実現に向けた具体的な対応策を明らかにするとともに保健医療関係者で共有を図り、府民への浸透につなげる。 	<p>○健康づくり関連 4 計画の一体的策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進計画等 4 計画の基本理念を共通化するなど計画間の整合を図りながら素案をとりまとめ ・府民に分かりやすい内容となるよう、府民の行動目標等を設定するとともに、具体的取組みを提示（～12月） ・計画毎に各審議会（部会）において、素案（7～8月）、案（12月）について審議。 ・パブリックコメント（1/19～2/19）・各審議会における審議を経て、計画を策定（3月末） ・3月末に策定した健康増進等 4 計画に基づき、府民の健康寿命の延伸を図る、新たな施策（第2期健康寿命延伸プロジェクト）に取り組む。

【部局長コメント（テーマ2総評）】

＜取組状況の点検＞

全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に向けて、健康寿命延伸プロジェクト事業等に取り組みました。事業の実施にあたっては、各保険者や市町村、企業等との連携を図り、府民の健康課題の明確化とその普及啓発、健康マイレージ事業の働きかけ、健康経営の実践の働きかけなど、地域（市町村）や職域（中小企業）での健康づくりの取組みを幅広く進めることで、当初の目標をほぼ達成することができました。

■ 府域における健康課題の明確化と課題を踏まえた健康づくりの展開

当初の目標を達成することができました。

- ・特定健診や医療費のデータ分析をもとに、肥満や糖尿病など、健康課題を明確にして、各保険者や市町村等へフィードバックに取り組みとともに、啓発資材等の作成や保険者等と連携による健康セミナーの開催を行うなど、府民への情報発信・啓発を図りました。

■ 地域（市町村）における健康づくりの展開と府民への働きかけ

当初の目標をほぼ達成することができました。

- ・多くの府民が健康に関心を持ち、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう施策を進めました。インセンティブを活かした健康マイレージ事業は目標市町村数を下回りましたが、民間企業等と連携した食生活の改善やがん検診の受診促進等に係る普及啓発・情報発信を行いました。
- ・がん検診キャッチフレーズの募集や大学と連携したがん検診体験イベントを行うなど、工夫した取組みを行いました。

■ 職域における健康づくりの展開と企業への健康経営の働きかけ

当初の目標を達成することができました。

- ・健康経営セミナーの開催やサポートチームの派遣を通じて健康経営の実践を働きかけるとともに、職場等において優れた健康づくりに取り組む企業・団体を表彰する「健康づくりアワード」を通じて、健康づくりにつながる好事例を表彰・情報発信を行いました。

■ 健康づくり関連 4 計画の策定

当初の目標を達成することができました。

- ・健康増進計画等 4 計画の基本理念の共通化を図るなど、関連計画との整合性を図りながら、計画を策定しました。

＜今後の取組みの方向性＞

健康づくり関連 4 計画のスタート年となる次年度以降、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」の実現に向けて、『第 2 期健康寿命延伸プロジェクト』を実施するとともに、国民健康保険事業との連携により、ポイント制度を活用した健康づくりの推進に取り組みます。

円滑な事業実施に向けて、市町村や多様な主体（医療保険者、民間企業・団体、大学等）との連携のもと、総合的・効果的な健康づくり施策の展開を通じて、健康づくりの機運醸成を図ります。

■ 第 2 期健康寿命延伸プロジェクト事業の実施

生活習慣病の発症予防には、生涯を通じた継続的な健康づくりの実践が必要であるため、若い世代からヘルスリテラシー（※健康情報を活用する力）の習得、働く世代のけんしん受診、高齢者のフレイル（※高齢になって心身の活力が落ちた状態）予防など、ライフステージに応じた取組みを実施します。

（重点方向）

- ・若い世代：『ヘルスリテラシーの習得』

子どもの頃から健康の大切さを学び、ヘルスリテラシーを習得することで、食生活や運動など、健康的な生活習慣を形成します。

- ・働く世代：『けんしん（健診・検診）の受診』

生活習慣病の予防・早期発見・重症化予防のために、特定健診やがん検診などを定期的に受診し、生活習慣を改善します。

- ・働く世代～高齢者：『フレイルの予防』

高齢になっても健康的な生活が送れるよう、運動や食生活の改善等を通じてフレイルを予防します。

■ 健康づくり支援プラットフォーム整備等事業の実施

府民の健康づくりに対する意識の向上と実践を促すことを目的に、インセンティブを活用した健康づくり事業を実施するための ICT を活用した基盤（プラットフォーム）を整備します。